

時間割コード	G1D11411	開講年度	2026				
授業題目	アカデミック・イングリッシュ・フェイズII (B) (中級)				担当教員	HARVEY JOHN JUSTIN	
英文授業名	Academic English Phase II (B)						
単位数	1	講義期間	後期	曜日・時限	水曜・3時限	対象学生	E I (6)
講義室	共通教育 2 4 講義室			授業形態	実習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】	
	大学DP						
	学士の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力				⇔	大学での学修の土台となるAcademic Skillsを使えるようになる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	多文化協働						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	上述の目標を達成するために、Academic Writing及びAcademic Speakingの演習を行う。 ・Academic Writing: アカデミック・ライティングの基礎をふまえ、自然な英語表現を身につけるための演習を行いながら、1ないし複数のパラグラフから成る説得力のある英文を作成する。 ・Academic Speaking: 修得した自然な英語表現を用い、ペアワークやグループワークを行いながら、設定したトピックについて調べたことや収集したデータなどを基に英語によるアカデミックプレゼンテーションを行う。						
(5)授業のキーワード	Academic Writing Academic Speaking Academic Presentation Natural Expression						
(6)授業計画	1. Introduction to this course. What is a good way of life ... for me? for the world? 2. Choosing a research topic. Introducing your topic. 3. Write mini reports in class. 4 ~ 5. Presentations 1. Discussion. 6. Various kinds of supporting evidence. Questioning and checking evidence. 7. Listening to problems and giving advice. 8. Written test 1. Discussion. 9. Planning a real world activity (organizing an event, starting a business, etc). 10 ~ 11. Group presentations. 12. Written test 2. Discussion. 13 ~ 14. Final presentations. 15. Review. 授業アンケート 16. Final written test.						
(7)成績評価の方法	・Academic Reading/Academic Writingに関する授業期間中の習熟度を測る課題 (60%) ・期末テスト (40%)						
(8)成績評価の基準	授業で解説した内容と同レベルの問題が 60%以上解ければ「合格水準にある(可)」 70%以上解ければ「合格水準よりやや上にある(良)」 80%以上解ければ「合格水準よりかなり上にある(優)」 90%以上解ければ「卓越している(秀)」とみなす。						
(9)事前事後学習の内容	・この授業は1単位のため、15時間以上の授業時間外学習を必要とします。 ・Please check our eAlps course page for homework after each class.						
(10)履修上の注意	Please bring your smartphone and use it to check in. But then keep it in your bag, and only use it if I ask you to!						
(11)質問,相談への対応	If you have any questions or comments, please feel free to say things during or after class.						
(12)授業への出席	・全ての回に出席することを基本とします。 ・授業を4回以上欠席した場合、この授業の達成目標に到達することができないため、成績評価の対象外(評点は0点)となります。 ・感染症報告システムに登録し「出席停止」と判断され、授業に出席できなかった場合は欠席とはみなしません。 ・「学修の補充の対象とする事由」(『共通教育履修案内』参照)により、授業に出席できなかった場合は欠席とします。						
(13)授業に出席できない場合の学修の補充	・「出席停止」により授業に出席できなかった場合は、健康安全センターからのメールを担当教員に転送して、学修の補充に関する指示を受けてください(『共通教育履修案内』参照)。 ・「出席停止」ではなく「学修の補充の対象とする事由」(『共通教育履修案内』参照)により出席できず、補充を希望する場合は、所定の方法(『共通教育履修案内』参照)により、共通教育窓口で申請してください。(この場合は、出席扱いにはなりません。)						

【教科書】	無し
【参考書】	無し